

市民病院に診察
順番の表示を！

宮坂けい子(公明党)
問 市民病院の診察までの待ち時間を有効活用できるよう、自分の順番を院内・院外で確認できる表示を求める。
市民病院経営部長 神戸市立中央病院などを研究して考えていきたいと思っています。
問 高齢者の交通事故減少のために、運転免許証の自主返納者に身分証明に利用できる住基カードの無料発行を。
鷲北副市長 七〇歳以上の

運転免許証自主返納者に対し発行される運転経歴証明書を確認した上で住民基本台帳カードを無料で発行するよう、実施に向けた検討をします。
市民部長 新年度当初の実現を目途に準備を進めたい。
問 団地や町内会単位での移動リサイクル広場の開催を。
環境資源部長 移動リサイクル広場についても拡大できるように努力をしていきたいと思っています。

高嶋均(日本共産党)
問 ごみ袋代の引き下げを実施すべきと考えます。
環境資源部長 多摩地域の平均的な価格帯一五円から二〇円の範囲内にあり適正な水準と考えていますが、リバウンドの状況などを見守りたい。
問 市民病院への交通アクセスの充実を。
市民病院事業管理者 あらゆる地域から、公共交通機関が病院のそばにアクセスする

必要があり、中核病院をやっていく上では必須の条件と考えています。重いテーマとして研究し実現にこぎつけたい。
問 鶴川駅前交通渋滞の解決を求める。
建設部長 川崎・町田道路整備連絡調整会議を開いていますがこの中で、局所的な改良については今後十分協議していきましようというところで継続的に協議、申し入れを行っています。
齋藤祐善(民主党・社民)
問 環境先進都市とは何で、どこへ向かうのか。
市長 先進とは、環境問題に取り組み意気込みというようなものを示したものです。
問 薬物汚染を含む暴力団問題の実態把握と啓発を。
いきいき健康部長 今後とも広報などにより薬物乱用防止について市民に対して普及啓発を行っていきます。
問 町田市にとって保育と

鶴川駅前交通
渋滞の解決を

環境・治安
について

どうなる
市民大学と公民館！

吉村こずえ(民主党・社民)
問 生涯学習センター構想の中間答申に市民大学と公民館を総合化し現中央公民館にセンター設置するところ。現公民館は人気のスポットで物理的に無理。関係機関と市民の意見を聞くべきではないか。
生涯学習部長 社会教育委員の会議で、今後、最終答申に向けて審議してもらいますが、他の附属機関からは、意見等を文書でもらうと聞いています。提案については、社会教育委員の会に伝えます。
問 ホームスタート事業に取組み、出産・育児までの切れ目ない子育て支援の充実を。
子ども生活部長 町田市では、育児支援ヘルパー派遣事業やファミリーサポートセンター事業などのほか、こんにちは赤ちゃん事業を行っています。既に実施している他の事業との整合性や効果も含め研究していきたいと思っています。



交通量の多い鶴川駅東口交差点付近

ワンクリック募金の
導入を望む

三遊亭らん丈(まだだ新世紀)
問 市民、企業、自治体の三者に便益がある「ワンクリック募金」を、町田市も速やかに導入してはどうか。
広報広聴担当部長 さまざまな課題もありますので、今後研究していきたいと考えています。
問 町田市公式ホームページで当該部課に簡単に電子メールを送れるようにすべき。
鷲北副市長 メールでのお問い合わせといった言葉を追加し、そこをクリックすればメッセージが送れるようなシステムをつくりたいと考えています。
問 過払い金回収を通じて滞納国保税の納入につなぐ仕組みの更なる周知徹底を望む。
いきいき健康部長 広報等にてできるだけ早く掲載したいと思っています。ホームページについては、一月一日にアップしました。

保育所の待機児
解消を求める

佐々木智子(日本共産党)
問 保育所の待機児実態と待機児解消に向けた認可保育所増設の今後の計画を問う。
鷲北副市長 二〇〇九年四月は四一七人で、一〇月には七八三人に増加しています。
子ども生活部長 二〇年間期間限定認可保育所のほか、認可保育所の増改築や分園の設置、定員の変更などで積極的に定員増を図り、待機児童の解消に努めていきます。

山下哲也(公明党)
問 市民要望として多摩方面へのバス路線導入が望まれているが、周辺の交通需要をどう捉えているか。
浜副市長 アンケートから、小山田地区及び小山田桜台地区から多摩市方面へのアクセス需要を確認しています。
都市づくり部長 仮にバスができた場合、既存の路線の本数の問題も出てきます。何がバスの利便性を上げるのか

を検討する必要があります。
問 障がい者のかかりつけ診療について、実態調査をすべきと考えます。
いきいき健康部長 関係部署と調整し、アンケート調査等を実施していきたい。
問 小中学校の授業等に聴覚障がいのある児童生徒のために手話通訳の配置は可能か。
学校教育部長 必要性が判断された場合、学校支援ボランティア等で対応したい。

成瀬駅前に公衆
トイレの設置を

あさみ美子(公明党)
問 乳がん検診の自己負担額の引き下げ、年齢制限の撤廃を求める。南地区に乳がん検診のできる医療拠点を。
いきいき健康部長 二六市の状況もあり、自己負担額については研究していきたい。年齢の上限枠の撤廃については検討を行っています。医療機関については南町田病院に現在お願いしている最中です。
問 全庁的な努力で、市政

出前講座のメニュー作り、内容の充実を求める。
鷲北副市長 先進市の事例を参考に、内容の充実をすべく検討していきます。
問 メール配信で市民の関心事の情報提供を。魅力ある多種の情報力テクノロジー導入を。
広報広聴担当部長 関係各課と、こういった情報が有益かを話し合うとともに、市民の方の意見を聞くといったことを含めて検討していきたい。
上野孝典(公明党)
問 成瀬駅北口に公衆トイレを求める声が多い。計画策定をするべきか。
環境資源部長 公衆トイレの配置計画については二〇一〇年度の早い時期に具体的な計画を作成する予定で、成瀬駅前の公衆トイレについてもこの中でよく検討したい。
問 六五歳以上の方のうち介護保険を利用しなかった方を対象とした還元制度の創設

がん検診の充実で
女性の健康を

を提案するが。
いきいき健康部長 保険料自体は直接返還するのは無理かと思いますが、何らかの形で可能性を今後研究していきたい。
問 住宅耐震改修補助制度が拡充されたが、玉石混じりの改修にも支援が必要では。
開発調整担当部長 宅地の安全性確保を促進するという観点から、必要性を感じているところです。